

平成27年第5回高梁市議会（定例）は、9月4日から9月28日まで25日間の会期で開催されました。一般質問では、議員9名が29項目にわたって市政について質問。市長提出の議案17件全てを認定、可決し、議員から提出された乙議案4件についても可決しました。市民団体などからの2件の請願については採択とし、2件の陳情については不採択となりました。

「米価暴落等に対する対策を求める陳情書」について

高梁市の基幹産業は農業である。政府は昨年からの経営安定策を半減しコメの価格変動交付金も事実上廃止するなど、農家は危機的状況である。農業の発展なくしては地域の活性化や発展は望めず採択を求める。

「平和安全法制整備法案と国際平和支援法案は、まだ国民の理解や信任を得られた状態とはいえ、国会での成立を急ぐことなく慎重審議を政府に求める」

水田は雨水を一時的に貯留し洪水や土砂崩れを防ぐ。多様な生き物を育む。美しい農村の風景は心をも和ませる。そのめぐみは都市

委員会では、「慎重審議としてい

法案そのものは日本の自衛隊が攻められてもいない他国へ派遣され、米軍の後方支援などを行うものである。しかし陳情の趣旨は「賛成者を含め8割を超える方が説明不足と考える慎重審議を求める」この一点である。高梁市からも毎年4～5人の方が自衛隊に入隊されており国の問題だけでない。市議会として法案に対する考えを示すため採択を求める。

住民を含め国民全体に及ぶ。米価が暴落したときは国が対策をとるべきだと考え採択を求める。

法案はまだ国民の理解や信任を得られた状態とはいえ、集団的自衛権は多くの憲法学者も違憲としている。しかし、安倍政権は個別的自衛権の解釈をしながら集団的自衛権の行使ができるとした。学者も弁護士も多くの国民も法案に反対し、あるいは慎重審議を求めるなかで可決された。法案の成立により国会審議そのものはすでに存在しないが、このたびの国民の声を無視した国会運営に異議を唱えるため採択すべきと考える。

マイナンバー制度導入に伴う条例・補正予算に関する議案について

マイナンバー制度は「行政の効率化」「国民の利便性の向上」「公平・公正な社会の実現」を目的に国が進めている。しかし、情報流出について不安感がある。過去には日本年金機構や民間企業から個人情報流出した。さらに、マイナンバー詐欺などの心配もある。情報管理は慎重に、詐欺被害防止の啓発や広報に力を入れるべき。

マイナンバー制度は行政機関が市民管理をしやすくするのが目的で、多大なコストの上に、国民のプライバシーの侵害や不正利用の危険性など考えられる。「平成27年度高梁市一般会計補正予算」についても、マイナンバー制度導入に向けた予算が組まれており反対する。

9月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

件名	○賛成 ●反対 一欠席																				
	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田	宮好	小林	柳井	川上	長江	植田	川上	宮田	大月	妹尾	難波	
平成26年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●
高梁市情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成27年度高梁市一般会計補正予算（第3号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
米価暴落等に対する対策を求める陳情書	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
「平和安全法制整備法案」と「国際平和支援法案」は、まだ国民の理解や信任を得られた状態とはいえ、国会での成立を急ぐことなく慎重審議を政府に求める陳情	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	●

◎他の議案は全会一致で可決しました。

全員協議会

9月28日

議会改革関連条例

●高梁市議会議員定数条例の一部を改正する条例

議員定数については、行政監視機能や政策形成機能、委員会構成などの視点と行財政改革や近隣市等との比較などから議会運営委員会や全員協議会で議論してきました。議員定数を削減すれば地方の声が届きにくくなる。行政管理機能や政策形成機能が弱まるといった意見がある一方で、人口や交付税が減少するなか定数削減もやむ

を得ない。行政監視機能や委員会構成は2名削減の18名でも行える。といった意見がありました。結果、本会議の採決では賛成多数で次回改選時から、定数を18名とすることになりました。

●高梁市議会会議規則の一部を改正する規則

議会及び委員会において男女共同参画を考慮し、欠席届の事由に出席を加えました。

●成羽高校跡地に養護老人ホームと認定こども園を計画。長寿園・成羽川荘を統合（定員60人）鶴鳴保育園・成美保育園を統合（定員120名）。

質疑では「子供の声が騒音にならないか」「木材のぬくもりを感じる建物に」「地元や利用者の声は」「避難所として今後は」「今ある建物は使えないのか」等々の意見が出されました。

●CCCから提出された図書館運営の概要について。質疑では「内容や進め方など市民にオープンするべき」「直営と委託での予算比較表の人員費は問題がある」「CCCへ手数料10%の根拠は」「歴史や文化の公共性の担保は」「図書館長は専門家を招聘しては」「書籍の購入は地元で」「ボランティアとの関係は」等の意見が出されました。